

大田原市国土強靱化地域計画改訂における新旧対照表（本文）

頁	改訂後（令和4（2022）年3月）	現行
表紙	令和3（ <u>2021</u> ）年3月 <u>（令和4（2022）年3月改訂）</u> 栃木県大田原市	令和3 _____年3月 _____ 栃木県大田原市
目次	第4章 計画の推進及び進捗管理 1 優先的に取り組む施策 . . . . . <u>36</u> . . . . . 2 各種施策の推進及び進捗管理 . . . . . <u>38</u> . . . . . 【別紙1】 リスクシナリオごとの脆弱性評価結果 . . . . . <u>39</u> . . . . . 【参考資料1】 重要業績評価指標（KPI）一覧 . . . . . <u>68</u> . . . . . 【参考資料2】 本計画における基本法適用条文 . . . . . <u>72</u> . . . . .	第4章 計画の推進及び進捗管理 1 優先的に取り組む施策 . . . . . <u>35</u> . . . . . 2 各種施策の推進及び進捗管理 . . . . . <u>37</u> . . . . . 【別紙1】 リスクシナリオごとの脆弱性評価結果 . . . . . <u>38</u> . . . . . 【参考資料1】 重要業績評価指標（KPI）一覧 . . . . . <u>67</u> . . . . . 【参考資料2】 本計画における基本法適用条文 . . . . . <u>71</u> . . . . .
18	○対応方策の指標 指標 主食となる非常食の数量 目標値（R8年） <u>19,075</u> 食 指標 飲料水 目標値（R8年） <u>19,075</u> ℓ	○対応方策の指標 指標 主食となる非常食の数量 目標値（R8年） <u>34,335</u> 食 指標 飲料水 目標値（R8年） <u>11,445</u> ℓ
19	○対応方策の指標 指標 防災士の人数 目標値（R8年） <u>338</u> 人	○対応方策の指標 指標 防災士の人数 目標値（R8年） <u>350</u> 人

大田原市国土強靱化地域計画改訂における新旧対照表（本文）

頁	改訂後（令和4（2022）年3月）	現行
19	○対応方策の指標 指標 消防団員の定足数 目標値（R8年） <u>94.5%（995人）</u>	○対応方策の指標 指標 消防団員の定足数 目標値（R8年） <u>92%（968人）</u>
22	○対応方策の具体的な施策 ・市道の修繕【市】 ・ <u>市道内環状南大通り線舗装修繕工事（R4～R6）総事業費1.8億円</u> ・ <u>市道加治屋矢板線舗装修繕工事（R5～R7）総事業費1.8億円</u> ・ <u>市道佐久山平山線舗装修繕工事（R5～R8）総事業費2.0億円</u> ・ <u>市道南金丸桧木沢線舗装修繕工事（R4～R5）総事業費1.5億円</u> ・バリアフリーの推進【市】 ○対応方策の指標 指標 道路改良済延長（ <u>990.45km</u> ） 現状値（R1年） <u>729.16</u> km	○対応方策の具体的な施策 ・市道の修繕【市】 _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ ○バリアフリーの推進【市】 ○対応方策の指標 指標 道路改良済延長（ <u>992.64km</u> ） 現状値（R1年） <u>730.70</u> km
24	○対応方策の具体的な施策 須賀川地区（ <u>5.81</u> km <sup>2</sup> ） ○対応方策の指標 指標 地籍調査進捗率 現状値（R1年） <u>23.22%</u> 目標値（R8年） <u>26.83%</u>	○対応方策の具体的な施策 須賀川地区（ <u>3.68</u> km <sup>2</sup> ） ○対応方策の指標 指標 地籍調査進捗率 現状値（R1年） <u>23.25%</u> 目標値（R8年） <u>26.36%</u>

大田原市国土強靱化地域計画改訂における新旧対照表（本文）

頁	改訂後（令和4（2022）年3月）	現行
28	<p>○対応方策の具体的な施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荒井町島地区圃場整備事業（61ha、H29～R6）【県・市】</li> <li>・練貫地区圃場整備事業（90ha、R4～R11）【県・市】</li> <li>・大田原南地区（倉骨）圃場整備事業（60ha、R4～R13）【県・市】</li> </ul>	<p>○対応方策の具体的な施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荒井町島地区圃場整備事業（61ha、H29～R5）【県・市】</li> <li>・練貫地区圃場整備事業（90ha、R4～R10）【県・市】</li> <li>・大田原南地区（倉骨）圃場整備事業（60ha、R4～R10）【県・市】</li> </ul>
29	<p>○対応方策の指標</p> <p>指標 多面的機能支払交付金事業及び中山間地域等直接支払交付金事業の農用地カバー率</p> <p>現状値（R1年） <u>53.95%</u></p> <p>○対応方策の具体的な施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林道塩の草須佐木線の整備（H27～R3）【市】</li> <li>・<u>大田原市森林整備計画の「基幹路網の整備計画」に掲載されている林道の整備【市・県・森林組合】</u></li> <li>・森林・山村多面的機能発揮対策事業の推進【市・とちぎ環境みどり推進機構】</li> </ul>	<p>○対応方策の指標</p> <p>指標 多面的機能支払交付金事業及び中山間地域等直接支払交付金事業の農用地カバー率</p> <p>現状値（R1年） <u>58.3%</u></p> <p>○対応方策の具体的な施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林道塩の草須佐木線の整備（H27～R3）【市】</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林・山村多面的機能発揮対策事業の推進【市・とちぎ環境みどり推進機構】</li> </ul>
31	<p>○対応方策の具体的な指標</p> <p>指標 よいちメール登録者数</p> <p>目標値（R8年） <u>15,000人</u></p>	<p>○対応方策の具体的な指標</p> <p>指標 よいちメール登録者数</p> <p>目標値（R8年） <u>10,000人</u></p>
32	<p>○対応方策の指標【再掲】</p> <p>指標 道路改良済延長（<u>990.45km</u>）【再掲】</p> <p>現状値（R1年） <u>729.16km</u></p>	<p>○対応方策の指標【再掲】</p> <p>指標 道路改良済延長（<u>992.64km</u>）【再掲】</p> <p>現状値（R1年） <u>730.70km</u></p>

大田原市国土強靱化地域計画改訂における新旧対照表（本文）

頁	改訂後（令和4（2022）年3月）	現行
34	<p>○主に対応するリスクシナリオ：7-2、8-1            災害発生に伴う事業所の倒壊建屋等からの有害物質の拡散・流出等による健康被害や環境への悪影響を防止するため、関係機関と連携してまいります。</p> <hr/> <p>また、大規模災害発生時には、復旧・復興の妨げとなる災害廃棄物が大量に発生することが想定されるため、それらを円滑に処理できるよう、大田原市災害廃棄物処理計画を策定し、併せて相互応援協定の締結推進による体制整備を行います。</p> <p>○対応方策の具体的な施策  <u>・環境保全協定の遵守【市】</u>            ・大田原市災害廃棄物処理計画の策定【市】            ・災害時相互応援協定締結の推進【市】</p>	<p>○主に対応するリスクシナリオ：7-2、8-1            災害発生に伴う事業所の倒壊建屋等からの有害物質の拡散・流出等による健康被害や環境への悪影響を防止するため、関係機関と連携し、定期的な事業所等への立ち入りなどを行い、排水水質及び有害物質の管理体制の強化を図ります。</p> <p>また、大規模災害発生時には、復旧・復興の妨げとなる災害廃棄物が大量に発生することが想定されるため、それらを円滑に処理できるよう、大田原市災害廃棄物処理計画を策定し、併せて相互応援協定の締結推進による体制整備を行います。</p> <p>○対応方策の具体的な施策  <u>・定期的な事業所等への立入検査の実施【県・市】</u>            ・大田原市災害廃棄物処理計画の策定【市】            ・災害時相互応援協定締結の推進【市】</p>
35	◆各分野へ再編した横断的視点 <u>(A～F)</u>	◆各分野へ再編した横断的視点 _____
53	<p>【業務継続体制の整備】            ・組織改編、業務内容や施設整備の変更があった場合には、大田原市地域防災計画及び大田原市業務継続計画（大規模災害編、<u>_____ I C T編及び新型コロナウイルス感染症対応編</u>）の実効性を高めるため、所要の改訂を行う必要がある。</p>	<p>【業務継続体制の整備】            ・組織改編、業務内容や施設整備の変更があった場合には、大田原市地域防災計画及び大田原市業務継続計画（大規模災害編及び I C T編 _____）の実効性を高めるため、所要の改訂を行う必要がある。</p>



大田原市国土強靱化地域計画改訂における新旧対照表（本文）

頁	改訂後（令和4（2022）年3月）	現行
69	<p>B. 住宅・都市・土地利用</p> <p>K P I 道路改良済延長（<u>990.45</u>km）</p> <p>現状値（R1） <u>729.16</u> km</p> <p>K P I 地籍調査進捗率</p> <p>現状値（R1） <u>23.22</u>%</p> <p>目標値（R8） <u>26.83</u>%</p>	<p>B. 住宅・都市・土地利用</p> <p>K P I 道路改良済延長（<u>992.64</u>km）</p> <p>現状値（R1） <u>730.70</u> km</p> <p>K P I 地籍調査進捗率</p> <p>現状値（R1） <u>23.25</u>%</p> <p>目標値（R8） <u>26.36</u>%</p>
70	<p>D. 産業・農業林業・エネルギー</p> <p>K P I 多面的機能支払交付金事業及び中山間地域等直接支払交付金事業の農用地カバー率</p> <p>現状値（R1） <u>53.95</u>%</p>	<p>D. 産業・農業林業・エネルギー</p> <p>K P I 多面的機能支払交付金事業及び中山間地域等直接支払交付金事業の農用地カバー率</p> <p>現状値（R1） <u>58.3</u>%</p>
71	<p>E. 情報通信・交通・物流</p> <p>K P I よいちメール登録者数</p> <p>目標値（R8） <u>15,000</u>人</p> <p>K P I 道路改良済延長（<u>990.45</u>km）【再掲】</p> <p>現状値（R1） <u>729.16</u> km</p>	<p>E. 情報通信・交通・物流</p> <p>K P I よいちメール登録者数</p> <p>目標値（R8） <u>10,000</u>人</p> <p>K P I 道路改良済延長（<u>992.64</u>km）【再掲】</p> <p>現状値（R1） <u>730.70</u> km</p>
奥付	<p>大田原市国土強靱化地域計画</p> <p>令和3（<u>2021</u>）年3月</p> <p><u>（令和4（2022）年3月改訂）</u></p> <p>〒324-8641 栃木県大田原市本町1丁目4番1号</p>	<p>大田原市国土強靱化地域計画</p> <p>令和3____年3月</p> <p>〒324-8641 栃木県大田原市本町1丁目4番1号</p>